

施策名：食の安全・安心の確保

事業名	担当課・室名	ページ
食の安全・安心推進事業	食品・生活衛生課	1 / 3
BSE検査事業	食品・生活衛生課	1 / 3
「安心はおいしい」情報発信事業	食品・生活衛生課	1 / 3
「安心はおいしいプラス」認証制度推進事業	食品・生活衛生課	2 / 3
おおいたHACCPトータル支援事業	食品・生活衛生課	2 / 3
食肉輸出検査体制高度化事業	食品・生活衛生課	2 / 3
環境に配慮した農業定着化推進事業	地域農業振興課	3 / 3



主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-5-(4)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価			
4	<b>「安心はおいしいプラス」認証制度推進事業</b> ( R3 ~ R5 ) 食品・生活衛生課 飲食店における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、第三者による認証制度を創設するとともに、飲食店事業者が行う設備導入に要する経費に対して助成する。	①認証取得に向けた補助制度の実施 認証取得のための設備導入等を行う飲食店事業者に対し、補助金を交付 (補助率10/10、上限30万円) ②第三者認証制度の創設 ・国からの通知を元にチェックリストを作成 ・申請を受け現地確認、助言・指導を行い、基準を満たしている飲食店に認証を付与	① 958,419 ③	<b>新規認証店舗数</b> 目標値 実績値 達成率			5,000	500	C			
			② 84,509 ④				4,477	—				
			主な活動指標と達成率			感染対策の徹底に向けた広報回数 目標値 104 実績値 104 達成率 100.0%	[件] 達成率			89.5%	—	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 認証店舗数の拡大に向け、テレビCMや新聞・Web広告、非認証店への訪問勧誘を実施したものの、感染が落ち着いた時期に認証申請が減少し、目標達成には至らなかった。 引き続き、訪問活動を中心とした認証への勧誘を行い、認証店舗を増やす。また、認証制度の質を担保するため、令和4年度は認証取得施設の巡回指導を行い、感染防止対策状況の確認、助言指導を実施する。
			非認証店への訪問活動 目標値 820 実績値 820 達成率 100.0%									
予算額 (うち翌年度繰越額) 1,048,815 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 1,048,815 (1,048,806)												

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
5	<b>おおいたHACCPトータル支援事業</b> ( R1 ~ R3 ) 食品・生活衛生課 食品衛生法改正の趣旨を踏まえ、食の安全性を一層確保するため、食品の製造・加工過程における衛生管理手法であるHACCPの導入・定着に取り組む食品取扱事業者の支援及び導入後のフォローアップを実施する。	①民間団体との連携によるHACCP定着支援 ・HACCPの周知及び円滑な導入の促進のためのセミナー開催 ・インターネットを利用した衛生管理計画の作成を推進 ②HACCP導入施設の妥当性審査 ・HACCP情報のリアルタイムでの共有 ・大規模及び中規模施設に対する施設立入審査	① 20,956 ③	<b>HACCP導入事業者数</b> 目標値 実績値 達成率		10,000	7,600		A		
			② 11,457 ④				10,768	7,647			
			主な活動指標と達成率			許可事業者のセミナー受講者数 目標値 500 実績値 517 達成率 103.4%	[者] 達成率		107.7%	100.6%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 ワークショップ型セミナーの開催や、インターネット上で衛生管理計画を作成することができるサイトの利用促進、個別指導等により、目標を達成することができた。 令和4年度からは、「HACCPフォローアップ事業」に組み替え、導入したHACCPの確実な定着に向け現地確認を行う。
			届出事業者のセミナー受講者数 目標値 4,000 実績値 4,030 達成率 100.8%								
予算額 (うち翌年度繰越額) 32,414 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 32,413 (15,882)											

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
6	<b>食肉輸出検査体制高度化事業</b> ( R3 ~ R3 ) 食品・生活衛生課 食肉の安全性を一層担保するため、と畜場に対しHACCPに基づく外部検証を実施するとともに、輸出認定維持に向けて輸出相手国からの要求に基づき検査体制を強化する。 また、高いレベルの検査精度を維持するため、と畜検査システムの改修等により輸出関連業務の効率化を図る。	①輸出関連業務の効率化 ・と畜検査システムの改修 ・微生物検査、病理検査の迅速化に用いる検査資材を導入 ②輸出相手国からの要求への対応 国際的なGLP管理に対応するため、畜産公社の機材整備を実施 ③HACCP外部検証の実施 ・微生物検査体制の構築のための機材整備 ・残留物質モニタリング検査の実施等	① 9,575 ③ 2,010	<b>HACCP外部検証における適合結果率</b> 目標値 実績値 達成率			83.3		A		
			② 3,134 ④					93.3			
			主な活動指標と達成率			現場検査、記録検査の実施率 目標値 100 実績値 100 達成率 100.0%	[%] 達成率			112.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 大分県畜産公社に検査結果に基づいた助言・指導を行い、作業手順等の改善をさせることで目標を達成し、食肉の安全性を確保することができた。また、米国などからの要求に基づいた機器整備、GLP管理を実施し、輸出認定の維持ができています。 今後の水産食品の輸出増加に対応していくため、令和4年度から「食品輸出支援体制強化事業」に組み替え、保健所が行う輸出事務の効率化を図る。
			予算額 (うち翌年度繰越額) 15,318 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 14,719 (7,013)								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-5-(4)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
7	<b>環境に配慮した農業定着化推進事業</b> ( H28 ~ ) 地域農業振興課 農業の持続的発展と農業の有する多面的機能の発揮を図るため、農業生産に由来する環境負荷を軽減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い農業生産活動を支援する。	①環境保全型農業直接支払交付金の交付 ・化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減に加え、地球温暖化防止または生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援 ・県及び市町村の推進費 ②市町村担当者会議及び市町村抽出検査の実施 市町村への事業説明及び取組内容の現地確認	① 22,110 ③	<b>環境保全型農業直接支払交付金実施面積</b> [ha]	目標値	380	<b>382</b>	384	A	
			② 23 ④		実績値	395	<b>389</b>	—		
	主な活動指標と達成率			達成率	103.9%	<b>101.8%</b>	—			
			市町村推進指導数 [市町村]	目標値	14	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 化学肥料や農薬等による環境負荷の軽減及び農業が有する環境保全機能の向上のため、環境保全に資する農業生産活動を行う農業者団体等の支援を行い、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進し、農業の持続的発展を推進することができた。引き続き、市町村への指導を通じて、環境保全に資する農業生産活動が取り組まれるよう推進する。				
				実績値	14					
				達成率	100.0%					
			市町村説明会開催回数 [回]	目標値	1					
		実績値		2						
		達成率		200.0%						
予算額 (うち翌年度繰越額) 22,388 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 22,133 (14,908)								